

213年

建安十八年（漢）

皇帝

劉協（漢獻帝）

皇后

伏寿（琅邪郡東武県・父の伏完は不其侯、桓帝の娘陽安公主を娶る）

三公（漢）

魏公：曹操

太傅：空席

丞相：曹操（前司空）

御史大夫：?慮（前光祿勳）

太尉：廃止

司徒：廃止

司空：廃止

その他の要職（漢）

太常：

光祿勳：

衛尉：

太僕：

廷尉：

大鴻臚：

宗正：

大司農：

少府：

大將軍：？

驃騎將軍：？

車騎將軍：？

衛將軍：？

地方官

冀州牧：曹操

主な事件

- ▶ 建安十八年春正月庚寅、禹貢の九州に復す。《後漢書孝献帝紀》
注に引く献帝春秋に曰く、幽州・并州を省いて冀州にその郡国を合わせた。司隸校尉と涼州を省き雍州と為す。交州を省き荊州と益州にそれぞれ合わせた。是に於いて兗*・豫・青・徐・荊・楊・冀・益・雍の九州と為った。但し禹貢の九州は益州が梁州であったが地は一致する。
- ▶ 夏五月丙申、曹操は自ら立って魏公と為し、[九錫](#)を加えた。《後漢書孝献帝紀》
- ▶ 大雨水あり。《後漢書孝献帝紀》
- ▶ 趙王劉珪を博陵王と為す。《後漢書孝献帝紀》
- ▶ この歳の秋、歳星、鎮星、ケイ星惑が逆行し、ともに太微に入る。五十日の間帝座を守る。《後漢書孝献帝紀》
- ▶ この歳、彭城王の劉和が薨じる。《後漢書孝献帝紀》

誕生者

死没者

[PAGE TOP](#)

[212 < <年](#) [> > 214年](#)